

# 時代を読み解く

シリーズ 50

## 日本に先立つ

## 韓国の取り組み

2000年に女性・平和

・安全保障(WPS)に關

する国連安全保障理事会決

議第1325号(決議13

25)が採択されて以来、

韓国のWPS政策推進の

韓国では14年の第一期に始まり、24年の第4期まで4回にわたって国家行動計画が策定されてきた。

これは15年に第1次政府行動計画を策定した日本に先立つものである。

司令塔は性平等家族部(旧・女性家族部)であり、国家行動計画には国防部のほか

外交部、統一部、法務部、行政安全部など11個の部処(省庁)と機関が参加して

いる。最新「第4期国家行動計画(2024-27)」において、日本軍「慰安婦」

に対する徴兵制国家・韓国が、WPSという国際規範をどのように国内政策、特に軍事組織に適用しようとしているのか。

# 韓国のWPS政策

「人権アプローチ」として正に乗り出している。具体的には、部隊内に「人権保護官」などの専門職を配置し、性暴力被害者の早期発見と保護、そして加害者の処罰厳格化を進めている。

韓国は、この暴力からの保護という側面に極めて強い力点を置いている部分に特徴がある。

最新の「第4期国家行動計画(2024-27)」において、日本軍「慰安婦」

に対する徴兵制国家・韓国が、WPSという国際規範をどのように国内政策、特に軍事組織に適用しようとしているのか。

韓国は、この暴力からの保護という側面に極めて強い力点を置いている部分に特徴がある。

最新の「第4期国家行動計画(2024-27)」において、日本軍「慰安婦」

に対する徴兵制国家・韓国が、WPSという国際規範をどのように国内政策、特に軍事組織に適用しようとしているのか。

韓国は、この暴力からの保護という側面に極めて強い力点を置いている部分に特徴がある。

最新の「第4期国家行動計画(2024-27)」において、日本軍「慰安婦」

いる。

## 「性暴力の視点」と

## 「4期行動計画」

決議1325に至る動因

のうち、大きな一つは19

90年代に内戦下の戦時性

暴力が世界的な注目を集めたことである。

戦時性暴力の被害国としての歴史的アイデンティティ

を持つ、かつ北朝鮮とWPSを安全保障における

「軍内での対策とPKOの女性軍人

それでは、韓国軍におけるWPS政策はどのような部分に重点を置いて進められているのだろうか。第4

期計画において国防部分は、O)においては、女性要員

の参加拡大が課題となっており、現在、韓国軍はレバノンや南スーダンなどに要員

を派遣しているが、女性比率は約5〜6%台にとどま

り、国連が推奨する目標値

の15%以上には届いていないが、実情である。専門家の支援を行う「エンゲージ

メント・チーム(EMT)」の

なるだろう。

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍内での対策とPKOの女性軍人

それでは、韓国軍におけるWPS政策はどのような部分に重点を置いて進められているのだろうか。第4

期計画において国防部分は、O)においては、女性要員

の参加拡大が課題となっており、現在、韓国軍はレバノンや南スーダンなどに要員

を派遣しているが、女性比率は約5〜6%台にとどま

り、国連が推奨する目標値

の15%以上には届いていないが、実情である。専門家の支援を行う「エンゲージ

メント・チーム(EMT)」の

なるだろう。

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍内での対策とPKOの女性軍人

それでは、韓国軍におけるWPS政策はどのような部分に重点を置いて進められているのだろうか。第4

期計画において国防部分は、O)においては、女性要員

の参加拡大が課題となっており、現在、韓国軍はレバノンや南スーダンなどに要員

を派遣しているが、女性比率は約5〜6%台にとどま

り、国連が推奨する目標値

の15%以上には届いていないが、実情である。専門家の支援を行う「エンゲージ

メント・チーム(EMT)」の

なるだろう。

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

「軍縮」を現実的なアジェンダとして掲げにくい事情がある。そのため、韓国は

防衛省防衛研究所理論研究部  
政治・法制研究室主任研究官

京都生まれ横浜育ち。東京大学教養学部卒業後、同大学院総合文化研究科地域文化研究専攻修士課程修了、博士後期課程単位取得満期退学。専門分野は韓国の外交・安全保障政策。韓国国防大学校(KNDU)との日韓教官交流や安全保障戦略課程(旧・一般課程)の東アジアの安全保障講座などを担当。